

# ふくおかの経済

令和2年8月号



## 生産

一部に持ち直しの動きがみられる。

6月の生産指数は、汎用・生産用機械工業などの上昇により3か月ぶりに前月を上回っています。

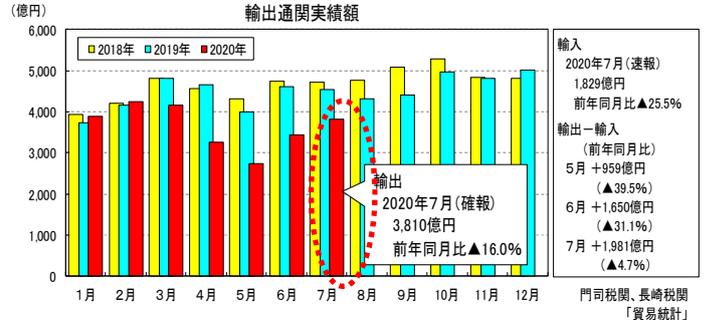


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出は、持ち直しの動きがみられる。  
輸入は、このところ下げ止まりつつある。

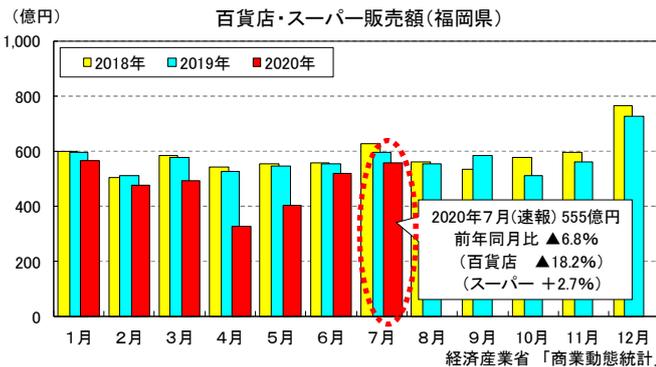
7月の輸出は、自動車などの減少により5か月連続で前年を下回っているものの、前年同月比の減少幅は6月から縮小しました。



## 消費

持ち直している。

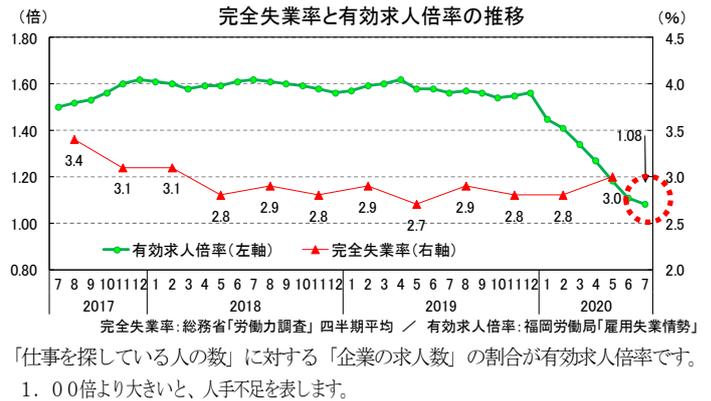
7月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、10か月連続で前年を下回りましたが、前年同月比の減少幅は縮小傾向にあります。



## 雇用

求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少するとともに、求職が増加に転じている。

7月の有効求人倍率は1.08倍で、前月を0.03ポイント下回りました。

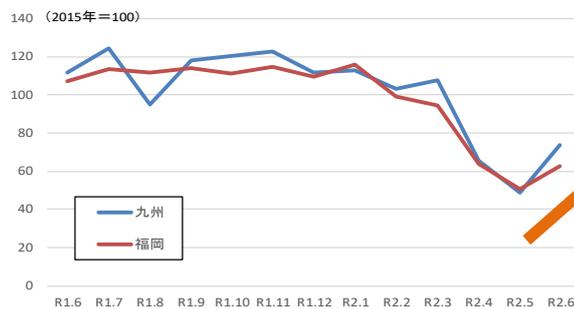


「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック 中国経済の状況と九州の製造業への影響について

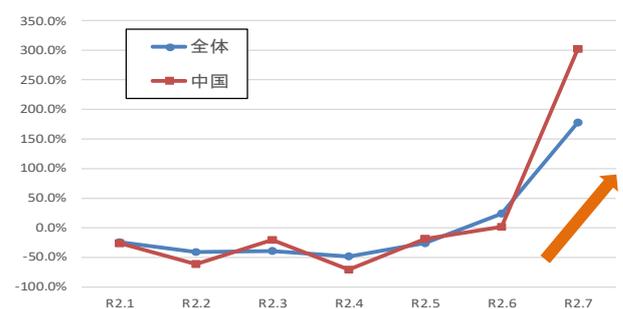
- 新型コロナウイルス感染症の影響により世界的に経済活動が抑制されているなか、中国経済は、4～6月期のGDP成長率が前年同期比3.2%増となるなど、持ち直しの動きがみられます。
- ここで、九州経済との繋がりをみると、中国は九州の自動車の最大輸出先国であり、中国経済の持ち直しに伴って、中国への輸出台数の多い本県の自動車生産も回復していくと考えられます。実際に、本県の6月の輸送機械工業の生産指数は、前月比24.9%増と持ち直しの動きがみられます(図表1)。
- また、中国は九州の半導体等製造装置の最大輸出先国でもあります。中国政府が5Gをはじめとする先端技術への投資を積極的に行っていることを背景に、中国への半導体等製造装置の輸出額は、5月以降大きく回復しています(図表2)。
- 米中関係の悪化が懸念材料ではありますが、中国経済の回復に伴って、九州の製造業及び輸出が持ち直していくことが期待されます。

図表1 九州及び本県の輸送機械工業生産指数(季節調整値)



資料：福岡県、九州経済産業局「鉱工業指数」

図表2 九州の中国向け半導体等製造装置輸出額の前年同月比



資料：門司税関、長崎税関「貿易統計」